

第 65 回クラシックを楽しむ会

2019 年 5 月 19 日 (日) 18:00～ (2 時間 45 分、休憩除く)

タイトル：歌劇「アルジェのイタリア女」(ロッシーニ)

会場等：ザルツブルク音楽祭 2018
2018 年 8 月 14・16・19 日
モーツァルト劇場 (ザルツブルク)

管弦楽：アンサンブル・マテウス、
ウィーン・フィルハーモニア合唱団

指揮：ジャン・クリストフ・スピノジ

演出：モーシュ・ライザー、パトリス・コーリエ

出演：チェチーリア・バルトリ (イザベッラ)
イルダール・アブラザコフ (ムスタファ)
エドガルド・ロチャ (リンドーロ)
アレッサンドロ・コルベッリ (タッディオ)
ホセ・コカ・ロサ (ハーリー)
レベッカ・オルヴェラ (エルヴィーラ)
ローザ・ボヴ (ズールマ)
その他



第 2 幕フィナーレ、騙されたことを悟ったムスタファ(中央)



バルトリ



アブラザコフ



ロチャ



コルベッリ



スピノジ



コーリエ (左)、ライザー(右)

あらすじ

アルジェの太守ムスタファは妻エルヴィーラに飽き、海賊の首領にエルヴィーラを若いイタリア人奴隷リンドーロに払い下げるから若いイタリア女を連れてくるよう命令する。イタリア女イザベッラがハーレムに連れてこられ、ムスタファはイザベッラを気に入る。

イザベッラと恋人リンドーロは再会に驚く。奴隷にされていた皆でムスタファを欺きハーレムから脱出する。騙されたことを悟ったムスタファはイタリア女はもう懲り懲りとエルヴィーラに許しを請う。

第 66 回クラシックを楽しむ会(予告)

タイトル：歌劇「ランメルモールのルチア」(ドニゼッティ)

6 月 23 日(日) 17 時 30 分開場、18 時上映開始

2019 年 2 月ウィーン国立歌劇場公演。美貌と美声のベルカントの新女王オルガ・ペレチャツコ、ファン・ディエゴ・フローレスなど豪華キャスト出演。「狂乱の場」の最高傑作を楽しみましょう。

7 月以降、英国ロイヤル・オペラ・ハウス 2015 年公演の歌劇「アンドレア・シェニエ」、ザルツブルク音楽祭 2018 年 8 月の歌劇「スペードの女王」、ベルリン国立歌劇場 2018 年 6 月公演の歌劇「マクベス」、ミラノ・スカラ座 2018/19 開幕公演の歌劇「アッティラ」などを予定。

あらすじ

【時と場所】

17世紀末、オスマン帝国支配下のアルジェ*。当時イタリア人たちヨーロッパ人が奴隷にされていた。

*北アフリカ、現在のアルジェリアの首都

【登場人物】

イザベッラ(Ms) : イタリアの女性、恋人リンドーロをさがすために乗っていた船が難破
リンドーロ(T) : イタリアの青年、ムスタファの奴隷、イザベラの恋人
ムスタファ(Bs) : アルジェの太守
タッディオ(Br) : イザベッラと同船の旅客、イタリアの不良老人
エルヴィーラ(S) : ムスタファの妻
ズールマ(Ms) : 奴隷、エルヴィーラの親友
ハーリー(Br) : アルジェの海賊の首領
その他

【第1幕】 アルジェの太守ムスタファの宮殿の一室、アルジェの海岸

太守ムスタファの妃エルヴィーラは近ごろ夫が冷たいと嘆き、侍女ズールマたちが慰めている。エルヴィーラに飽きたムスタファは、海賊の首領*1 ハーリーに、エルヴィーラをイタリア男の奴隷リンドーロに払い下げるから若いイタリア女を連れてこいと命じる。リンドーロが登場しイタリアに残した美しい恋人イザベッラへの思いをアリア「**美しい人を思い焦がれ**」を歌う。

イザベッラがリンドーロをさがすために乗っていた船は難破し、虫の好かないイタリアの不良老人タッディオとともにハーリーに捕らわれる。イザベッラはリンドーロを想いアリア「**悲しい運命、はかない恋よ**」を歌う。タッディオはイザベッラをムスタファから守るために、イザベッラがタッディオの姪と偽る。ムスタファは、ハーリーが美しいイタリア女を連れてきたと聞き大喜びしてアリア「**なんだか胸がどきどきしてきたわい**」を歌う。

イザベッラはムスタファを扱いやすい男と思い、ムスタファはイザベッラに一目惚れ。タッディオが騒いでムスタファから串刺しの刑*2 と言われ驚くが、イザベッラはタッディオは私の叔父だと言って助ける。リンドーロと、ムスタファに払い下げられたエルヴィーラがイタリアに出発する挨拶のために現れる。イザベッラとリンドーロは再会に驚く。イザベッラの機転でリンドーロを自分の奴隷にするようムスタファに迫って助ける。フィナーレは早口言葉の愉快な7重唱。

*1. 悪名高いバルバリア海賊。首領は当時のヨーロッパ列強海軍の提督と対等の権威ある存在だった。

*2. 実際にアルジェで奴隷にされていたセルバンテス（後記）が実際に目撃していた事実。

【第2幕】 宮殿の一室と大広間

ムスタファがイザベッラの虜になったので、イザベッラの策略とも知らずにとエルヴィーラ達が嘆いている。イザベッラとリンドーロは愛を再確認。タッディオは侍従長に就任して大喜び。

イザベッラは、カヴァティーナ「**美しく着飾りましょう、あなたのために**」を歌い、エルヴィーラに対してはムスタファに負けないよう激励し、ムスタファと二人きりにならないように焦らせて「**私の大好きな彼のために**」を歌う。ムスタファはイザベッラ、リンドーロとタッディオにからかわれてイライラしている。

ハーリーはイザベッラの賢さに感服している。リンドーロはムスタファに、もてる男たちの結社 "パッパターチ" に加入するよう仕向ける。リンドーロ、タッディオとイザベッラは、"パッパターチ" を利用した逃亡計画を立てる。

そそのかされたムスタファは "パッパターチ" の規則の "見えても見なかったふり、聞こえても聞かなかったふり、そして食べて、黙ってる" を守ることを誓う。ムスタファが運ばれたご馳走を食べ始めると、イザベッラやリンドーロたちは船に乗り込み出発する。

ムスタファは、エルヴィーラ達の「イタリア女は行ってしまった」の言葉で騙されたことを知り、エルヴィーラにイタリア女はもう懲り懲りと許しを乞う。

出演者

チェーリア・バルトリ(1966-)はイタリア・ローマ生まれで、現在世界最高のメゾソプラノ歌手の一人。モーツァルトとロッシーニのオペラの役で有名。特にロッシーニの「チェネレントラ」役は彼女の代名詞。
イルダール・アブラザコフ(1976-)はロシア・バシキール出身のバス・バリトン歌手。巨匠ムーティ指揮でグラミー賞を受賞したヴェルディ「レクイエム」に出演。

エドガルド・ロチャ(1983-)は、ウルグアイ・リベラに生まれたテノール歌手。ロッシーニ・テノールとして活躍中。

アレッシンドロ・コルベツリ(1952-)はイタリア・トリノ生まれのバリトン歌手。モーツァルトとロッシーニを専門とする世界有数の歌手の一人。

ジャン・クリストフ・スピノジ(1964-)はフランス人の指揮者・ヴァイオリニスト。家族で創立したカルテット・マテウスを母体に**アンサンブル・マテウス**を創立した。ヴィヴァルディのオペラなどバロック音楽の解釈と演奏で知られる。近年はモーツァルトとロッシーニの指揮にも成功している。

モーシュ・ライザー(1956-)はベルギー・アントワープ生まれの、**パトリス・コーリエ**(1954-)はフランス・パリ生まれの演出家である。二人は1983年から共同で欧米主要オペラ劇場で演出している。

オスマン帝国時代の地中海世界と海賊

キリスト教世界とイスラーム世界の争い

当時の地中海世界は、スペインのキリスト教徒が**レコンキスタ**(再征服)でイベリア半島からイスラーム教徒を追い出して地中海に勢力を伸ばし、キリスト教世界とイスラーム世界の争いが激化した時代である。

悪名高いバルバリア海賊

オスマン帝国支配下の**アルジェ**、チュニス、トリポリなど北アフリカのバルバリア*1 海岸と呼ばれた地域を根拠地とした海賊。船舶の捕獲だけでなく、ヨーロッパの大西洋岸を含むほぼすべての海岸線の町や村を襲撃して略奪したが、主目的はイスラーム市場に送るキリスト教徒を捕まえて奴隷にすることだった。最盛期は17世紀。最新式の航海術と造船術*2 でヨーロッパ列強の海軍と対等に戦い、フランスが1830年にアルジェを征服するまで活躍した。

*1. ヨーロッパ人が16世紀から19世紀にかけ原住民族**ベルベル人**の住むアフリカ北西岸一帯を指して用いた名称である。

*2. 仏・英・蘭などの私掠船(国王が免許を与えた海賊船)の反逆者たちがバルバリア海賊に加わったことで列強と対等に戦えた。

バルバリアの奴隷

1530年から1780年の間に100万人~125万人のヨーロッパ人が捕虜にされ、奴隷として使われたと推計されている。多くの奴隷は長い航海の間に船中で死んだ。奴隷競売に向かう道で街中を歩かされ見世物にされた。奴隷は買い手が吟味し競り落とされた。激しい肉体労働から家事まで様々な仕事に酷使され命を落とした。

あのセルバンテスも奴隷にされていた!

奴隷は身代金の支払いで解放されることを期待できたが滅多に成功することはなかった。時代は1世紀さかのぼるが「**ドン・キホーテ**」で有名なスペインの小説家ミゲル・デ・セルバンテスもスペイン最盛期の「**レパントの海戦**」*の帰途バルバリア海賊に襲われアルジェで5年間の奴隷生活を送った。その間4度脱走を試みたが失敗。1580年家族に身請けされ危機一髪で解放され、その体験を世界史に残る名作に反映した。

*1571年、オスマン帝国艦隊とローマ教皇・スペイン・ヴェネツィアの連合艦隊による海戦。連合艦隊が勝利し、オスマン帝国艦隊のガレー船の漕手にされていたキリスト教徒奴隷12,000人が解放された。



バルバリア海賊船と戦うイギリス海軍旗を掲げた戦艦(右端)